



# 「こんにちは 市長です」 8月1日号

すったもんだの東京オリンピックも、この号が出る8月1日には後半に入っています。太田で事前合宿をしたオーストラリアはすでに全日程を終えて帰国しているはずです。アスリートが自国と自身の名誉を懸けてメダルを目指すのは狙いの一つですが、合宿地での市民との交流も大切なことです。コロナ禍の中、交流事業は残念ながら思うとおりにできませんでした。しかし、太田市民はもとより全国からの差し入れ、力強いエールは彼女たちに勇気を与えました。ヘッドコーチのレイン・ハーロウさんが選手村に入る前日にすてきなコメントを残していってくれました。

「いよいよ太田市で過ごせる時間もあとわずかです。ここ太田市に着いて練習を始めてからもう6週間が過ぎているなんて信じられません。世の中が日々変化する中で私たちは太田市に来ることができて本当にラッキーでした。金メダルを獲得することを追い求める私たちをしっかりとサポートしてくれたからです。太田市の皆さんには感謝です。このまちに来ると第2のふるさとも感じます。まるで私たちにとっての家族のようです。(中略) オージースピリットの選手・スタッフからこれまでの皆さんからのサポート、応援、そしておもてなしに感謝いたします。ここから自分たちの旅は次の舞台である東京オリンピックへと移るわけです。私たちがつくっていく栄光を家族である太田市の皆さんと分かち合いたいと思います」

「五輪まであと1週間」「東京感染・4週間後は2406人」今日のA紙の1面です。コロナ禍での五輪は外国選手には大きなハンディ、日本のメダルラッシュになっている気がしますが…。  
(7/16記)